

高齢者が住み慣れたまちで暮らし続けるために

生活支援コーディネーター

高齢者がいつまでも住み慣れたまちで暮らしていくためには、地域組織やボランティア、NPO、民間企業などが、高齢者の生活のちょっとした困りごとの解決を支援することや、歩いて行ける距離にある交流の場に、高齢者自身が参加することが必要です。

こんにちは！千葉市生活支援コーディネーターです！住民同士の支え合いを一緒に考えてみませんか？



あんしんケアセンターなどに配置されている生活支援コーディネーターは、地域の高齢者が、いつまでも元気に、住み慣れたまちで生きがいを持って暮らしていけるよう、住民同士の支え合いの推進と地域づくりのお手伝いをしています。
☎地域包括ケア推進課 ☎245-5168 ㊟245-5293

生活支援コーディネーターの役割

地域資源の把握 高齢者が住み慣れた地域で生活していくための情報を集めます。



こんな情報を集めています！
サロン・茶話会、健康体操教室、ウォーキンググループ、グラウンドゴルフ、配食サービス、ごみ捨て支援、移動販売、公園、商店など

地域資源情報は、千葉市の生活支援サイトに掲載しています
生活支援コーディネーターが集めた地域資源情報は、市ホームページに掲載されています。
高齢者の在宅生活を支えるための通いの場や交流の場、生活支援サービス（家事援助、配食サービス、見守り支援など）の情報を集約しています。ぜひ、ご覧ください。
千葉市 生活支援

地域資源って何？
ここでの地域資源とは「住民の暮らしを支えている人、物、情報など」を意味しています。例えば、ご近所付き合いや友人などの人間関係、サロンや公民館などでの活動、助成金、生活の知恵、地域の風習なども地域資源と呼んでいます。
資源の価値は、その人や地域によって異なるため、さまざまな視点から地域資源を集めています。

地域ニーズと地域資源のマッチング

地域の声を聴き、生活支援コーディネーターが把握している情報を紹介します。

こんな地域の声へ、情報を紹介しています！
「近所で運動ができる場所はないかしら」
→ 「グラウンドゴルフサークルや体操教室がありますよ」
「足が痛くて…ごみ捨てや買い物が大変だな」
→ 「お近くの移動販売を利用してみませんか」



地域資源の創出・担い手の養成

地域住民とともに、必要な活動を作ったり、活動する人を養成したりします。

こんな地域の声があります！
「地域で高齢者への声かけ活動をしたい。どうしたらできるかな」
「趣味や特技を、地域で生かせる方法はないかな」
「集会所で気軽に集まれるサロンを始めたい」

ネットワークの構築

地域住民や多職種と連携し、地域づくりに取り組みます。



高齢者サロンとの関わりを例に生活支援コーディネーターの活動を紹介します！

支え合いの地域づくりに、地域を知ることが大切です。地域を見て、たくさんの方の声を聴き、地域資源を集めています

STEP1 | 地域の声を聴きます(見て、聴いて、集める)



STEP2 | 地域(人や場など)をつなぎます



Interview お話を聞きました！

高齢者サロン運営代表 前澤さん
生活支援コーディネーターがサロンの様子を見に来てくれ、私たち運営者や参加者の相談に応じたり、サロンのことを地域の方たちに案内してくれたりすることが、運営の励みになります。
運営で困ったことなどを相談すると、一緒に考えてくれたり、他のサロンの様子を教えてくれたりするので心強いです。



生活支援コーディネーター 坂巻さん
高齢者サロンを訪問して、運営者や参加者のお話を聴き、活動や介護予防の取り組みを支援しています。交流の場で得られた情報などを地域の方々に案内したときは、とても喜んでくれました。
何よりも、参加された方が前向きな気持ちになれることが、コーディネーターとしてうれしい限りです。



生活支援コーディネーターに相談したいとき
お住まいの地域を担当するあんしんケアセンターにお問い合わせください。詳しくは、千葉市 あんしんケア